

一、経過

(1) 勞資共特異ノ行動ナシ
(2) 交渉状況

七月三十一日午前十時ヨリ水上警察署ニ於テ事業主側佐藤和吉外二名、勞働組合側佐藤 恕外一名、船主代表者中尾絹一郎外三名會見

勞働者側ハ最大譲歩案ナリトテ左ノ三案ヲ提示シ其何レカニテ解決シタキ希望ヲ開陳セリ

一、仕込金ヲ廿五月トシ一航海ニ付三月ノ臨時仕込ヲ支給スル

但シ此歩ハ船主支弁ハ夫債ハ船夫支弁

二、仕込金廿五月トシ夫婦及独身者ヲ除ク家族一人ニ付キニ月五十錢ノ臨時仕込ヲ支給スル事 但シ前項ニ同じ

右ノ案ニ對シ事業主側ハ第一第三案ハ多額ノ仕込ヲ支給スル事ト為リ会社ノ経済状態上不可能ナリトシテ第二案ヲ基礎トシテ折衝シ

一、仕込金一ヶ月三十二月トシ外ニ家族仕込ハ一人當リ二月ヲ支給スル事

二、此歩ハ船主支弁

三人夫債ハ船賃ト分離シテ支拂フ事

四、材木船ノマワシ甲地ヲ指定シ田漕ビタルモノヲ船主ノ都合ニテ乙地丙地ト田漕セシムル場合ノ賃銀ハ店主ニテ支拂フ事

五年二期暮迄臨時仕込金十五月ハ其都度協定スル事但し不特

此等ノ場合ハ臨時仕込ヲ認ムル事

六、賃金債還方法